

- 【日時】 令和6年5月30日(木) 10:00~16:05
- 【場所】 一橋大学一橋講堂・オンラインでの同時配信を実施
- 【会場参加者】 194名(外部参加者90名、協会職員104名)
- 【オンライン再生回数】 593回(令和6年6月19日現在)
- 【テーマ】 持続可能な医療保険制度を目指して
- 【プログラム】

<午前の部>

●外部有識者を活用した委託研究第Ⅲ期 中間報告(1年目)

- ①東京大学 未来ビジョン研究センター 特任准教授 井出 博生
「協会けんぽにおける今後の保健事業等の基盤整備を目指した調査分析」
- ②秋田大学大学院 医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座 教授 野村 恭子
「就労女性の性に関連する健康と労働生産性の実証研究」
- ③上智大学 経済学部 経済学科 教授 中村 さやか
「患者・供給者の行動変容と保険者機能強化による医療サービスの効率化」
- ④京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 特定教授 福間 真悟
「保健事業による健康アウトカムを改善するための行動インサイト:因果探索の応用」

(進行)全国健康保険協会 理事 岡村 智教

<午後の部>

●協会けんぽ調査研究報告

- ①大阪支部 「レセプトを活用したがん検診の精密検査受診勧奨」
- ②岡山支部 「糖尿病非該当から予備群及び治療域への10年間の追跡」
- ③広島支部 「メンタルヘルス対策に関する事業所実態調査」

(講評) 産業医科大学 医学部 准教授 村松 圭司



↑協会けんぽホームページ
(第10回調査研究フォーラム資料・動画掲載ページ)

●外部有識者を活用した委託研究第Ⅱ期_中間報告(2年目)

- ① 摂南大学 農学部 食品栄養学科 公衆衛生学教室 教授 小川 俊夫
「生活習慣病の疾病別医療費の地域差に関する研究」
 - ② 東北大学 災害科学国際研究所 災害医療情報学分野 准教授 藤井 進
「支部単位保険料率の背景にある医療費の地域差の要因に関する研究」
 - ③ 岩手医科大学 医学部 衛生学公衆衛生学講座 教授 丹野 高三
「機械学習を用いた生活習慣病の治療行動予測モデルの構築」
 - ④ 東京大学大学院 経済学研究科 教授 飯塚 敏晃
「予防医療が本人と家族に及ぼす効果に関する研究」
 - ⑤ 京都大学大学院 白眉センター 特定准教授 井上 浩輔
「メンタル疾患・生活習慣病の発症リスク削減、医療費適正化に向けた
機械学習予測モデルの構築と因果推論」
- (進行) 全国健康保険協会 理事 岡村 智教
(コメンテーター) 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 後藤 励



【ポスター発表】

- ① 北海道支部 「加入者の歯科受診行動等と背景要因の関連」
- ② 宮城支部 「睡眠と働きがい及び生産性に関する実態調査」
- ③ 秋田支部 「秋田支部の総合工事業における健康リスクと介入の検討」
- ④ 静岡支部 「ハイリスク群における健診受診後の行動とコラボヘルス事業の効果の検討」
- ⑤ 京都支部 「働き世代の健康データ分析による健康経営の推進策」
- ⑥ 愛媛支部 「測定方法による血圧値の影響と発症リスクに関する考察」
- ⑦ 本 部 「協会けんぽの医療費の地域差と新3要素による分析」

【会場アンケート結果】 回答数:108名(外部参加者47名、協会職員61名)

●フォーラム全体について

	非常に有意義	有意義	あまり有意義なし	有意義なし	(無回答)	計
人数	46	60	1	0	1	108
割合	42.6%	55.6%	0.9%	0%	0.9%	100%

●主なご意見(自由記載・外部参加者)

○委託研究発表等へのご意見

- ・ 協会けんぽと医療従事者、研究機関が協力して調査・研究されていることは大変有意義であり、その過程と結果をうかがえる大変貴重な機会でありました。研究にレセプトデータを活用できるのは結果の信憑性が高く有意義。今後もこの研究活動とフォーラムをぜひ継続していただきたいと思います。
- ・ 先生方のわかりやすい発表のおかげで知識不足の私でもある程度理解することができ、大変勉強になりました。こういった研究がされていること、活用されようとしていることを知ることができましたので、私の仕事の一助にもしたいと思います。
- ・ 今回は中間報告であり、さらに進んだ状況報告を知りたいと感じられた。

○支部発表へのご意見

- ・ 支部を活用して地域格差に着目していくことが重要だと思われる。
- ・ 支部取組の発表の場を増やすことが望ましい。

○全般

- ・ 進行の先生からの問やコメントが更に発表内容を深める事に寄与していた。
- ・ 講評とコメンテーターの先生方の人選がすばらしく、発表内容の理解がとても進みました。
- ・ 質疑応答が深く楽しいので、もう少し時間を設けてほしいなと思いました。